

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	251011	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
生態学分野におけるアジア地域からの 国際情報発信の強化		日本生態学会	会長 齊藤 隆
学術刊行物の名称			(略称)
Ecological Research			ER

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>編集委員の 59%を海外から招き、審査開始から掲載までの日数を 180 日と迅速にしたことは評価できる。</p> <p>しかし、中国とインドからの投稿数が増加する一方、わが国からの投稿数は残念ながら減少しているため、活発な投稿を促すべきである。また、平均採択率と国内の採択率に大差があり、海外からの投稿論文の質を高める取組みが求められる。</p> <p>次世代エディター育成や関連他学会と特集号を発行するなど新たな取組みも進めており、残る事業期間でのこれらの成果を期待する。</p>	